

2024年度 町田市市民参加型事業評価 事業別評価結果

2024年11月10日(日)

経営改革室



目次

1	事業別の評価結果	p. 3
	(1)市民協働推進費・地域活動団体支援事業	p. 4
	(2)障がい者福祉費	p. 7
	(3)都市公園事業	p.10
	(4)保健予防費	p.13
	(5)生涯学習センター費・学校施設開放事業	p.16
	(6)広報費	p.19
2	(参考)傍聴者等のリアルタイムアンケート	p.22

1 事業別の評価結果

(1)市民協働推進費・地域活動団体支援事業

評価結果概要

部課名	市民部市民協働推進課	事業 の 概要	・市内で活動する団体、地域住民、企業、大学などの連携、協働を促進し、ひと、もの、かねなどの資源を市内で活動する団体自らが活用できるよう支援 ・地区の課題を自ら解決に取り組む団体への補助金交付。異なる部門の多様な主体が参加し課題解決を図るプラットフォームの実施 ・市民活動団体や地域活動団体間の連携を促進や活動の魅力を伝え市民活動へのきっかけづくりを行うイベントを開催
トピックス	地域コミュニティの課題解決と参加促進		

総合評価		評価コメント
一部改善すべき		・これまでの取組は、地域課題解決や地域活動を支援するためのプラットフォームとして機能しており、一定の評価ができるが、これからは、若年層も含めて持続可能な地域活動について考え、全市民にコミュニティ活動への参加、認識を共有していく、新たな一歩を踏み出さなければならない状況にあると考える。 ・オープンイノベーション的な考え方で、これまで培ってきたプラットフォームや知見を活用していくことが必要である。
各評価人の評価		
満足できる事業である	1人	
一部改善すべき	5人	
大いに改善すべき	2人	
市が行うべき事業ではない	0人	



2 事業別の評価結果 (1)市民協働推進費・地域活動団体支援事業

(参考)各評価人からの意見

評価できるところ

- ・これまで5年間の実績は評価できる。
- ・オープンイノベーションが実施可能なプラットフォームは、これまでの取組で既に備わっている。
- ・町田市の市民協働の取り組みは、他市に比べて、かなり広範囲に、幅広く積極的に行われていると思う。

改善したほうがよいところ

- ・オープンイノベーションが実施可能なプラットフォームは既に備わっているが、目的や成果が見えづらく、利用しづらい。
- ・地域活動サポートオフィスの事業は、成果指標を具体的に示し、効果を検証する必要がある。
- ・市民協働の活動の理念、目標・指標や実績を公表して、全市民と連携して推進してほしい。
- ・市民協働の主な取り組みである、地域活動サポートオフィス、地区協議会、「まちカフェ!」、「寄り合い-The YORIAI-」について、継続することが目的にならないように、振り返りと評価、見直しを毎年行い、市民に公表する必要がある。
- ・若年層への周知の点では、学生にとって一番のコミュニティである学校と連携し、学校で使用するタブレット端末を使った周知や、生徒会活動や探求活動の一環としてコミュニティ活動に取り組んでもらうなどの取組が出来れば、興味を持ってもらえると思う。
- ・生徒会活動や探求活動の一環としてコミュニティ活動に取り組んでもらうなどの取組が出来れば、興味を持ってもらえると思う。
- ・若年層をはじめとした、幅広い世代の方に地域とかかわりを持ってもらうためには、町内会の盆踊りなど、小学生も地域の一員として、地域のコミュニティ活動に参加してもらうことが考えられる。
- ・既存の取組の成果を明確にするため、「まちカフェ!」では、スタートアップ企業をテーマにしたイベントを開催したり、「寄り合い-The YORIAI-」では、高校生からのビジネスアイデアをテーマとするなど、イベントごとに目的を明確にすると良いと考える。
- ・今後、全市民に地域コミュニティに参加してもらい、充実させていくには、オープンイノベーションが重要なツールになる。
- ・「まちカフェ!」は開始から5年が経過し、知名度があると思うので、知名度を活かした取組を考えてみると良いと思う。
- ・外郭団体である地域活動サポートオフィスに委託することが前提となっていることに、疑問を感じる。
- ・全市民に取組の理念や目的を共有するために、行政と市民が一体となれるようなスローガンをたてるのも有効ではないか。



(2)障がい者福祉費

評価結果概要

部課名	地域福祉部障がい福祉課	事業 の 概要	・条例の趣旨や合理的配慮の事例を周知し、障がい理解の普及啓発や紛争解決
トピックス	障がいへの理解促進		

総合評価	
大いに改善すべき	
各評価人の評価	
満足できる事業である	1人
一部改善すべき	3人
大いに改善すべき	4人
市が行うべき事業ではない	0人

評価コメント
・これまでは、少ない人員と予算の中でよくやってきている。
・これまで培った経験や知見をもとに、町田市を目指すべき方向性や成果を明示し、障がいへの理解が100%進む、差別が解消される共生社会構築までのプロセスと方策を所管課が取りまとめ、庁内や議会、市民に共有していくことが重要だと考える。高い志をもってさらに励んでいただきたい。
・難しいことだと思うが、この事業の重要性を鑑みると、予算と人員はもっと増やしてもよいと思う。

2 事業別の評価結果 (2)障がい者福祉費

(参考)各評価人からの意見

評価できるところ

- ・「障がいへの理解促進」に関する事業は大変意義深く、限られた人員と予算の中で、よく取り組んでいると思う。
- ・条例制定も含めて、現在の取組は他市と比べて先進的であり、このような条例を作成したことは、市は政策的に強い意志を持って取り組んでいくということを感じた。

改善したほうがよいところ

- ・「その取組を実施すると地域社会がどのようによくなるのか」というような、わかりやすい成果を市民と共有することが重要である。
- ・障がいへの理解促進の成果を図るためには、数値的な目標が必要だと思う。
- ・事業の評価指標は、当事者へのアンケートだけでなく、専門家も含めて、改めて指標の検討を行うべきである。
- ・条例が施行されると、事業者の合理的配慮が義務となるため、合理的配慮の進み具合を成果指標とすることもできると思う。
- ・成果指標として、ちょこっとアンケートで市民の意見を集めるなど、様々なアンケートを使うことも検討してほしい。
- ・障がいへの理解促進に関する取組は、恒常的に行う必要があると思うので、継続した周知啓発が必要。
- ・参加者が、障がいの有無にかかわらず、同じ体験を共有する体験型のイベントを通して、気づきが得られ、理解が深まると考える。
- ・幅広い世代に周知するには、SNSなど広告媒体を増やすことを検討するだけでなく、キャラクターを活用したり、イラストを多用した見やすい情報発信や動画での周知、また、学校を通じて発信するなどの工夫が必要。
- ・自分の周りの高校生は、この条例の存在をほとんど知らず、若年層には届いていないように感じる。学校と連携し、学校を通じて発信したり、SNSを活用したりすると良いと思う。
- ・小中学生を普及啓発の対象とすると、子どもから大人に伝わり、理解が深まることもある。
- ・この事業の重要性から考えると、予算、人員は拡充すべきだと思うが、現時点では、限られた予算と人員の中で、他の部署や民間企業、学校等と連携しながら、障がい理解を推進する旗振り役となってほしい。
- ・市民に周知するだけでなく、市内事業者や、市内で文化・スポーツイベント等を行う団体との連携も考えられる。
- ・障がいへの理解促進を市民に働きかけるためのコンテスト、ポスターや作文のコンクールを開催してほしい。



(3)都市公園事業

評価結果概要

部課名	都市づくり部公園緑地課	事業 の 概要	・公園緑地の植生や施設の維持管理を行うとともに、利用調整や要望対応などの運営業務を実施 ・多くの公園緑地で指定管理者制度を導入し、指定管理者による柔軟で効率的な管理運営、自主事業などによる利活用を促進
トピックス	公園の利用促進（維持管理）		

総合評価	
一部改善すべき	
各評価人の評価	
満足できる事業である	0人
一部改善すべき	6人
大いに改善すべき	2人
市が行うべき事業ではない	0人

評価コメント
・昨今、まちづくりや市民生活において、都市公園のあり方が重要視されてきているため、市民のニーズや市民の利用を第一に考え、市民が主役の公園づくりを進めてほしい。 - そのうえでは、地域のニーズを踏まえた公園のルール作りやその周知、指定管理者制度を活用した公園の維持管理の効率化や、町田ならではの公園の魅力向上に取り組んでほしい。



2 事業別の評価結果 (3)都市公園事業

(参考)各評価人からの意見

評価できるところ

- ・指定管理者制度の導入は、公園の効率的な維持管理に加えて魅力度アップを含めて、時勢にあった方向性であると考ええる。

改善したほうがよいところ

- ・公園は、「子どもの意思」が密接に関係しており、子どものニーズが重要である。
- ・子どもでも公園がどういう場所かわかるように、公園のビジョンを明示すると良い。
- ・公園のビジョンを大々的に市民と共有しても良いと思う。
- ・公園を管理する指定管理者が、市民ニーズをくみ取ることは、非常に重要であり、指定管理者の評価指標とするとよい。
- ・公園の特性に合わせたイベント開催や、防犯対策などの魅力向上案を、指定管理者から自主的に提案してもらうなど、指定管理者に競わせて、市場原理が働く仕組みづくりが必要。
- ・町田市 of 自然的な特性を活かし、公園で、野菜市や里山のワークショップなど、魅力を体験できるイベントを実施すると良いと思う。
- ・指定管理以外の、民間活力導入の手法を検討しても良いと考える。
- ・地域の特性や年齢層、ニーズに応じて、公園の再編や、遊具や休憩スペースなど、魅力につながる整備を行うと良いと思う。
- ・私の住む地域は公園のすぐ近くに雑木林があるが、地域に子どもも多くない為、公園の利用が無い。むしろ不審者に注意とあるように、使われない公園があることで治安の悪化につながっている部分もある。はたしてそのような公園を維持管理する必要はあるのか。
- ・公園を利用できない人のニーズの吸い上げること必要。
- ・地域の方の意見を収集して、市民ニーズを把握しながら、公園ごとのルールを決めていくことができると良い。
- ・公園の利用ルールについて、学校でアンケートを取るなど、主なユーザーである子どもの意見も反映されるような仕組みにできたらと思う。
- ・公園でのボールを使用した遊びは、中学生以上は「スポーツ」と定義され、禁止となっているが、ボール遊びとスポーツの区分を見直す必要があると思う。
- ・その公園でボール遊びができるのかどうかという情報を、その場で誰もが得られるようにするために、多言語対応ができるQRコードの活用や、ピクトグラムの表示などが必要。

(4)保健予防費

評価結果概要

部課名	保健所 保健予防課	事業 の 概要	・市民の皆様が食育を実践しやすい環境を整え、取り組みを推進
トピックス	食育の推進		

総合評価	
一部改善すべき	
各評価人の評価	
満足できる事業である	0人
一部改善すべき	7人
大いに改善すべき	1人
市が行うべき事業ではない	0人

評価コメント
・市民の健康を支えるという意味で、大変意義深く、内容としても評価ができる。 ・実施方法や周知方法は、ターゲットごとに訴求できる方法を検討してほしい。



2 事業別の評価結果 (4)保健予防費

(参考)各評価人からの意見

評価できるところ

- ・市民の健康を支えるという意味で、大変意義深く、内容としても評価ができる。
- ・食育の普及啓発のために、市内のスーパーマーケットや大学等、関係機関へのアプローチに力を入れている。

改善したほうがよいところ

- ・対象者によって、周知方法や啓発内容を使い分けるとよいと思う。
- ・まち☆ページズを活用した四コマ漫画などで、食育に関する普及啓発をすると親しみやすさを感じる。
- ・SNSを活用するうえでは、表紙の工夫や、市民参加型のレシピコンテストを開催してはどうか。
- ・学校や学生等と連携し、若い世代の視点を取り入れた周知を行うとよいのではないかな。
- ・朝食をとらないのは時間がないことも理由の一つなので、おにぎりのような手軽でバランスの取れたレシピを周知する とよいと思う。
- ・若者の食育を推進するにあたっては、まちだすいとんを高校・大学の文化祭や学食で提供することや、地元スーパーに保護者向けのレシピを設置するなど、学校や民間企業と連携すると効果的だと思う。
- ・無関心層に対しては、流行りのドラマとのコラボレーションや、「勉強中」「運動後」「眠くなりにくい」等、目的別のおすすめ 食事内容を発信してはどうか。
- ・食に関する取り組みは、市の他部署でも実施していると思うので、他課と連携して実施してほしい。
- ・正しく栄養を取れていないと、体にどのような影響があるのか、警鐘を鳴らすような周知内容にするとよいのではないかな。
- ・市が実施している健康診断の結果通知に、食生活に関するアドバイスなどを加えてみるとよいのではないかな。



(5)生涯学習センター費・学校施設開放事業

評価結果概要

部課名	生涯学習部 生涯学習総務課 文化スポーツ振興部 スポーツ振興課	事業 の 概要	・市立小中学校の特別教室等を学校教育に支障のない範囲で開放し、地域の方々の文化活動等の場として提供 ・市立小中学校の校庭、体育館を学校教育に支障のない範囲で開放し、地域の方々のスポーツ活動等の場として提供
トピックス	学校開放		

総合評価	
一部改善すべき	
各評価人の評価	
満足できる事業である	0人
一部改善すべき	5人
大いに改善すべき	3人
市が行うべき事業ではない	0人

評価コメント
・事業の目的や、目標としている姿は適切なものである。 ・利用を前提とした既存の利用方法だけでなく、個人でも利用できる仕組みや、予約システムの導入についても検討する必要がある。 ・受益者負担の導入についても検討していただきたいが、その際は子どもや地域への配慮が必要である。

2 事業別の評価結果 (5)生涯学習センター費・学校施設開放事業

(参考)各評価人からの意見

評価できるところ

- ・地域住民の活動の場を提供するため、学校施設の開放を積極的に進めている点が、評価できる。
- ・地域の大学生が学習支援員として常駐し、宿題や調べものなどの学習をサポートする取り組みは高く評価できる。

改善したほうがよいところ

- ・地域ごと、世代ごとに、利用に関するニーズ調査をするとよいと思う。
- ・施設の予約をネットでもできるようにすることで、空き状況が確認できたり、利用料金を取るようになった際に便利になると思う。また、既存の施設案内予約システムで調理室などを利用している人向けの周知にもつながるのではないかな。
- ・団体利用だけでなく、個人利用を進めることや、不定期にイベントを開催することにより、利用率向上につながると思う。たとえば、今後、新たな取り組みとして特別教室などを個人利用の自習スペースとして開放することも検討してはどうか。
- ・今後も、多くの市民が学校施設を開放利用しやすくするため、施設予約の枠を整理するなど、利用ルールの見直しも検討してほしい。
- ・受益者負担について検討を進める必要があると考える。
- ・料金設定については、学割や地域の方については割引をするなど、子どもや地域への配慮が必要だと思う。
- ・有料化するにあたっては、キャッシュレスにすることで、利便性も向上すると思う。
- ・オンライン予約と合わせて利用料金の支払いができるようになった場合は、ポイント制などを導入してはどうか。
- ・どんな団体が活動しているのかが分かると、団体に所属したい人にとってはよいと思うので、情報をまとめ、公表したらよいのではないかな。

(6) 広報費

2 事業別の評価結果（6）広報費

評価結果概要

部課名	政策経営部広報課	事業 の 概要	・町田市が“選ばれつづけるまち”となるために、「シティプロモーション基本計画2022-2026」の戦略に基づき、シティプロモーションを推進
トピックス	シティプロモーション		

総合評価		評価コメント
一部改善すべき		・これまで様々な取り組みをよく実施しているが、さらに高みを目指してほしいという意味を込めて、「一部改善」とする。 ・周知を行うにあたっては、より伝わる、読みやすい内容を心がけ、今後も引き続き様々な取り組みを検討の上、実施いただきたい。
各評価人の評価		
満足できる事業である	2人	
一部改善すべき	6人	
大いに改善すべき	0人	
市が行うべき事業ではない	0人	

2 事業別の評価結果 (6)広報費

(参考)各評価人からの意見

評価できるところ

- ・他市と比べて、市に愛着を持っている市民が多いことは、シティプロモーションの成果といえる。
- ・広報まちだをはじめ、様々な媒体を使い、民間企業などと連携した取り組みや情報発信を行っていることは評価できる。
- ・「一人ひとりが広報担当」という意識のもと、職員の研修や事業を実施していることは、よいと思う。

改善したほうがよいところ

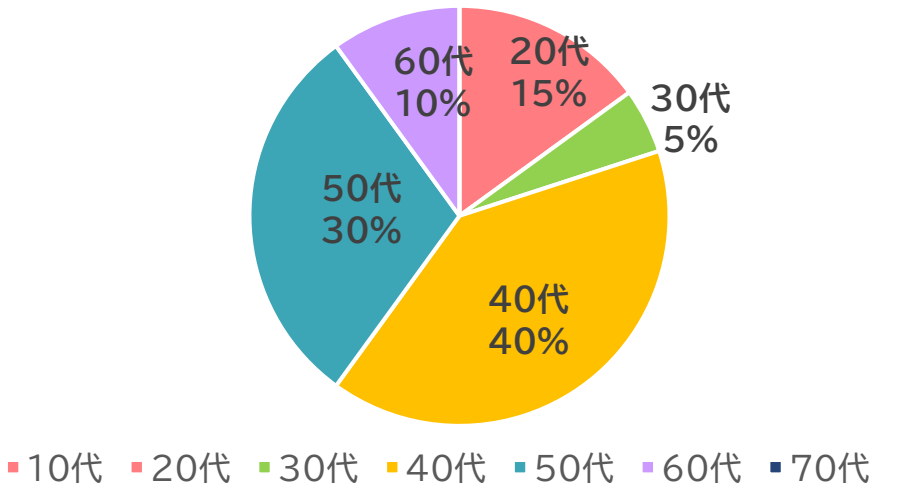
- ・町田駅自体が便利であることや、ごみを戸別収集していることなど、市民にとっては当たり前のことでも他市と比較すると魅力であることは多くある。また、ポケふたなど、特定の趣味・嗜好を持つ人にとって魅力的なコンテンツもある。そういった「当たり前のこと」についても改めて他市との比較・分析をし、魅力として発信していくとよい。
- ・中高生をインタビュアーとして起用することや、高校生や大学生をインフルエンサーとして育成してはどうか。
- ・シティプロモーションの成果指標を他市比較することで、市の魅力発掘やPRに繋がるだけでなく、計画改定時にも役立つと思う。
- ・若年層に対しては、Instagramの写真に文字を入れる、ハッシュタグをつける、リール動画に流行りの音楽を使うなど、より多くの人に投稿を見てもらえるような工夫や、一目見ただけで町田市の投稿だとわかるようなデザインにするとよい。
- ・市外の方や、普段からまちだに関心が低い層に対しては、他部署や民間企業と連携して魅力発信をしてはどうか。
例えば、ホームタウンチームである、FC町田ゼルビアは市外の方からも注目されているため、競技場で市のアンテナショップを開店するとよい。
- ・海外からの留学生向け等にも、「町田が住みやすいところだ」ということを発信するとよりよいのではないか。
- ・市の職員向けの研修については、使用する媒体や流行り等に留意したうえで、より積極的に実施する必要があるのではないか。



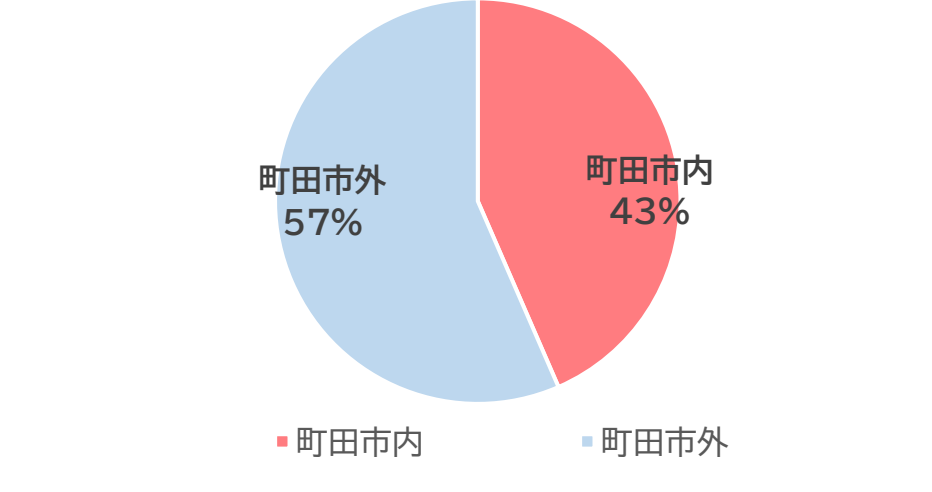
2(参考)傍聴者等によるリアルタイムアンケート結果

(1) 市民協働推進費・地域活動団体支援事業

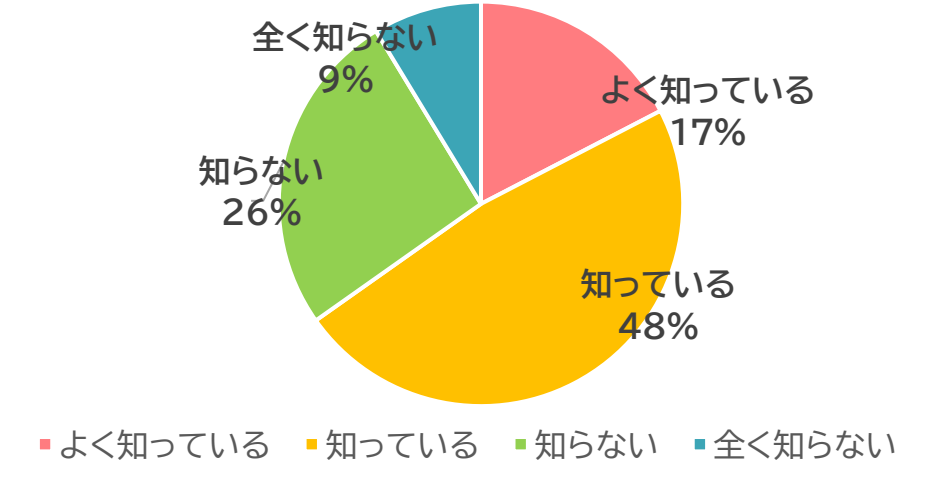
Q1 年齢層を教えてください。



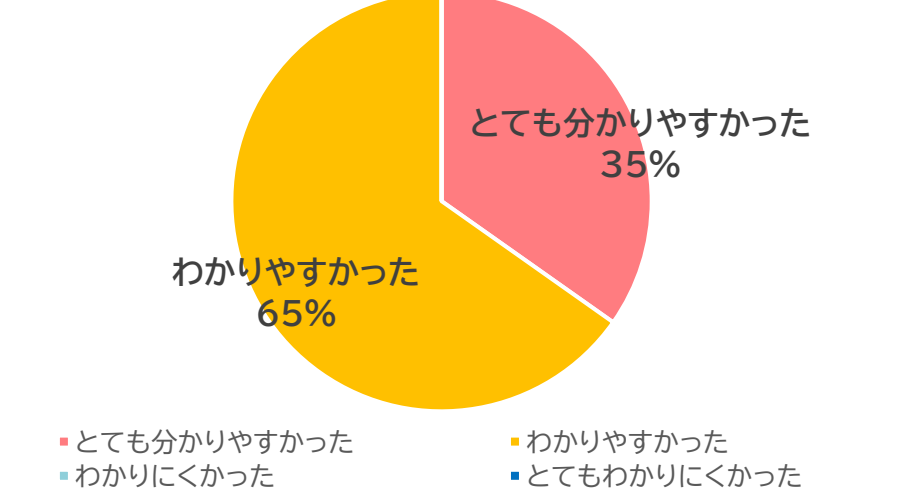
Q2 お住まいはどちらですか。



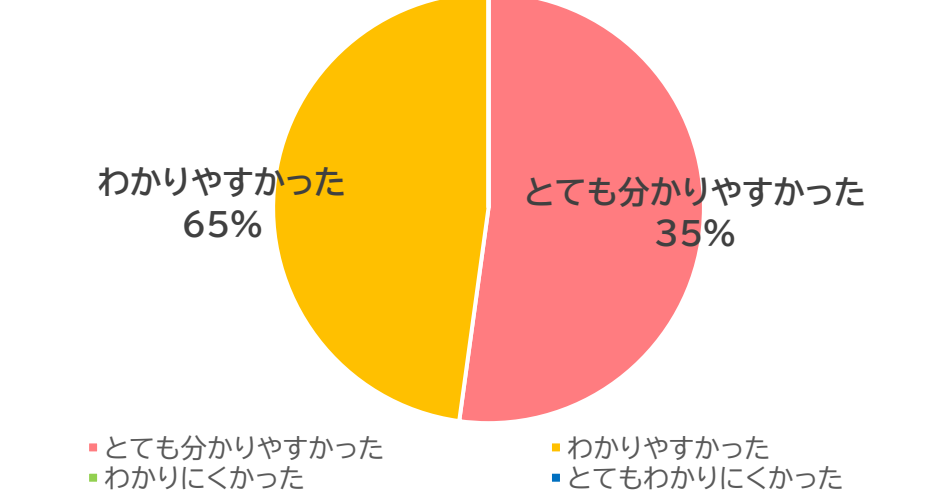
Q3 資料掲載の市の取り組みについて、どの程度知っていましたか



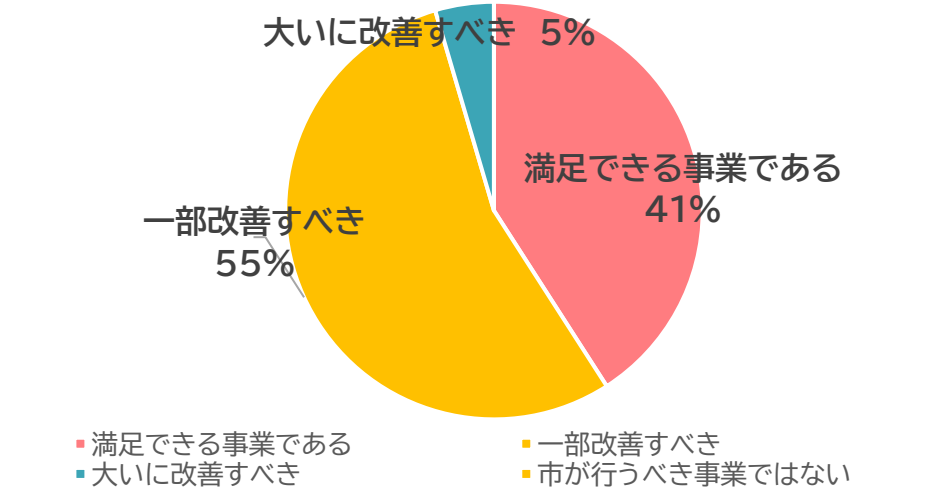
Q4 所管課の職員の説明はわかりやすかったですか



Q5 評価人チームと所管課の職員との話し合いはわかりやすかったですか

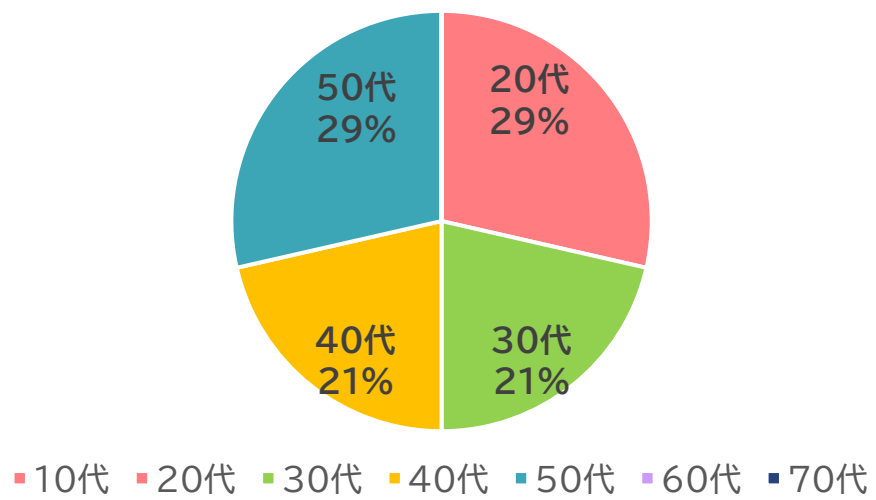


Q6 この事業をどう評価しますか。

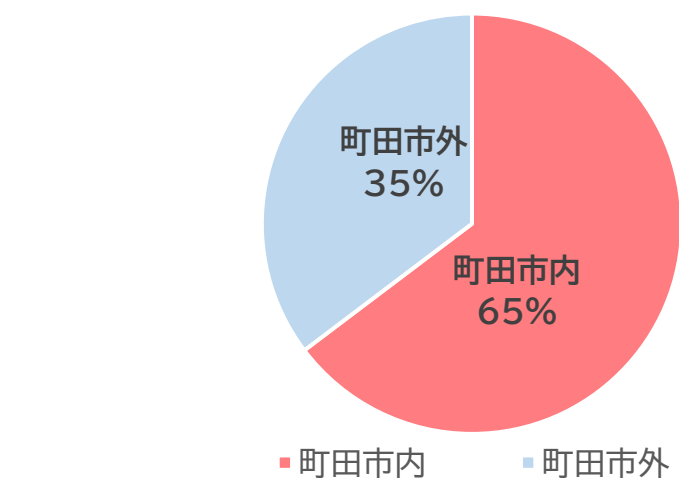


(2)障がい者福祉費

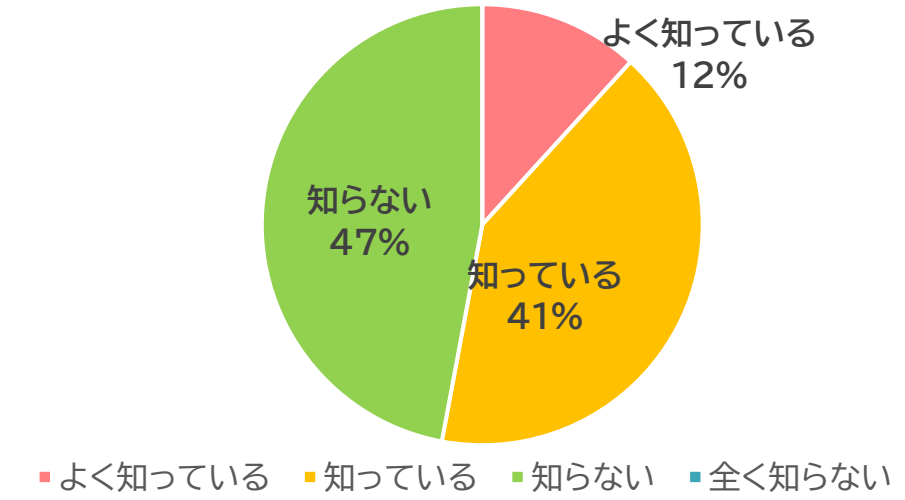
Q1 年齢層を教えてください。



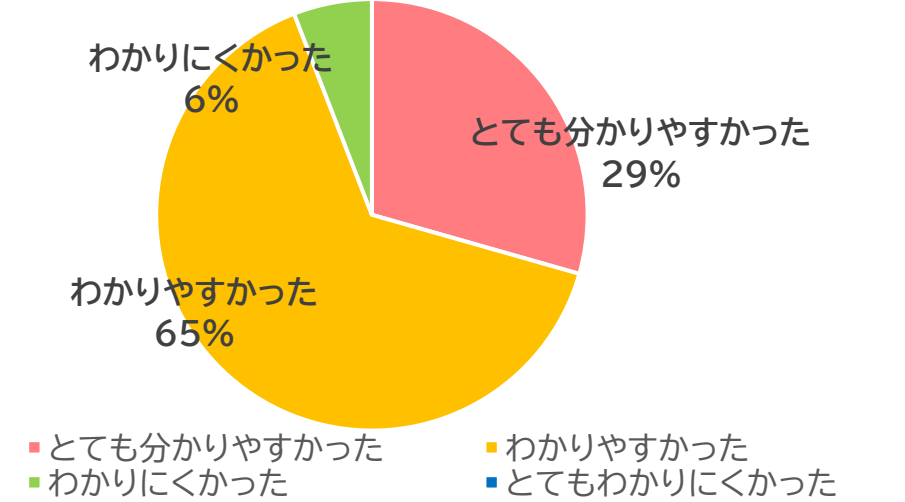
Q2 お住まいはどちらですか。



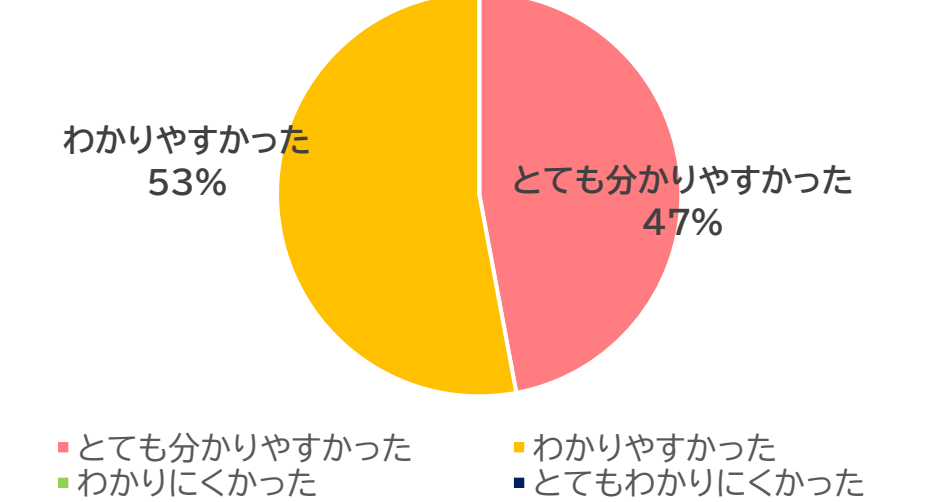
Q3 資料掲載の市の取り組みについて、どの程度知っていましたか



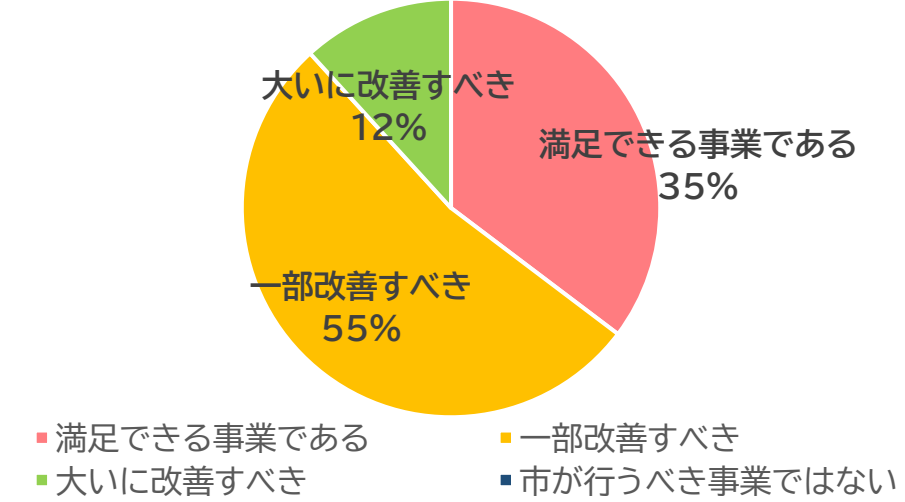
Q4 所管課の職員の説明はわかりやすかったですか



Q5 評価人チームと所管課の職員との話し合いはわかりやすかったですか

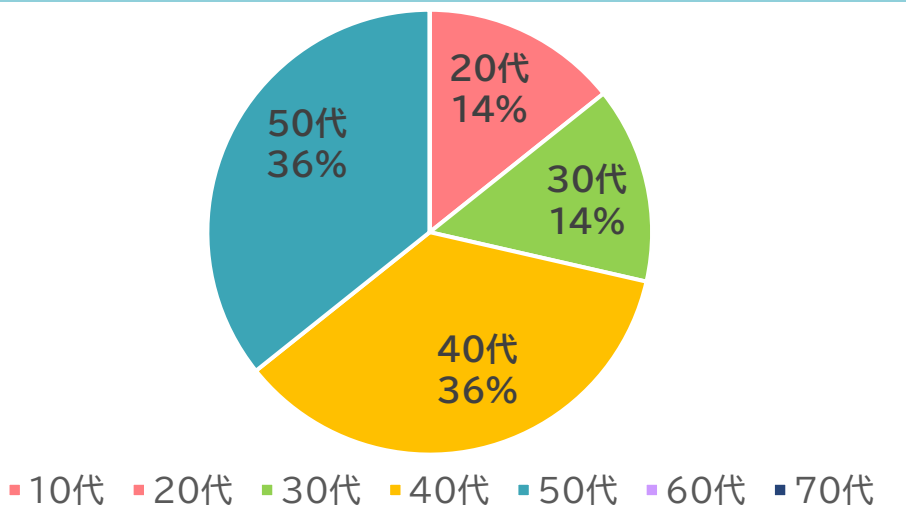


Q6 この事業をどう評価しますか。

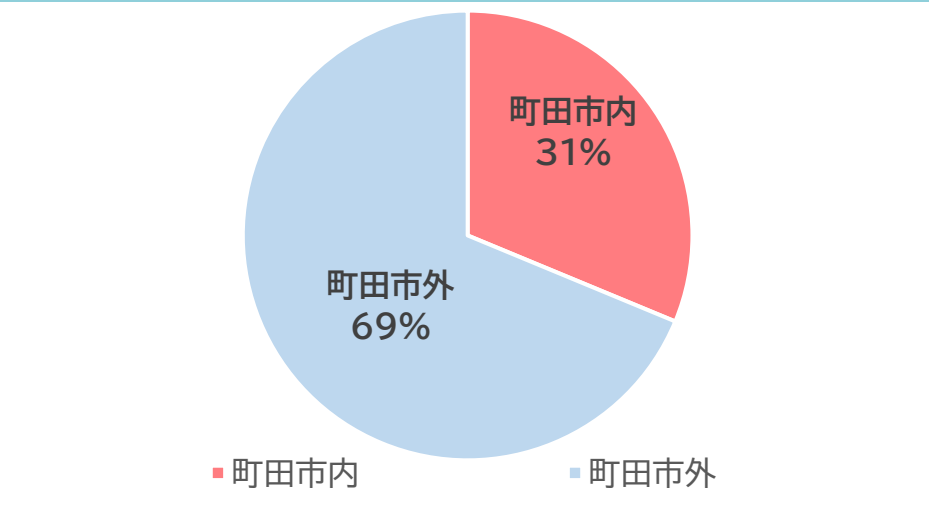


(3)都市公園事業

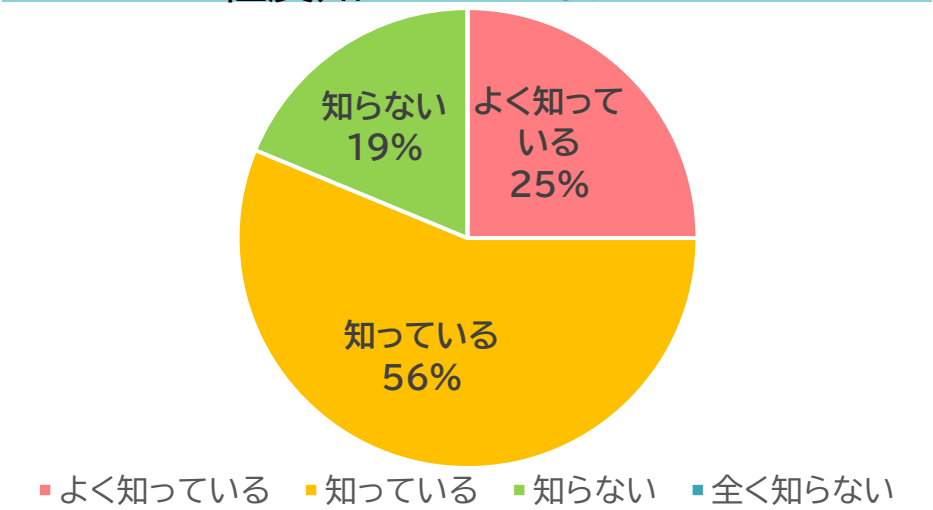
Q1 年齢層を教えてください。



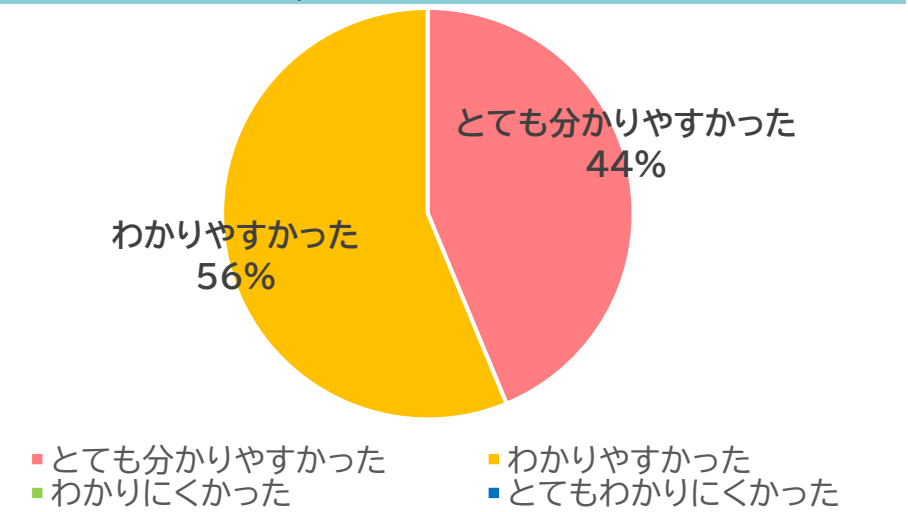
Q2 お住まいはどちらですか。



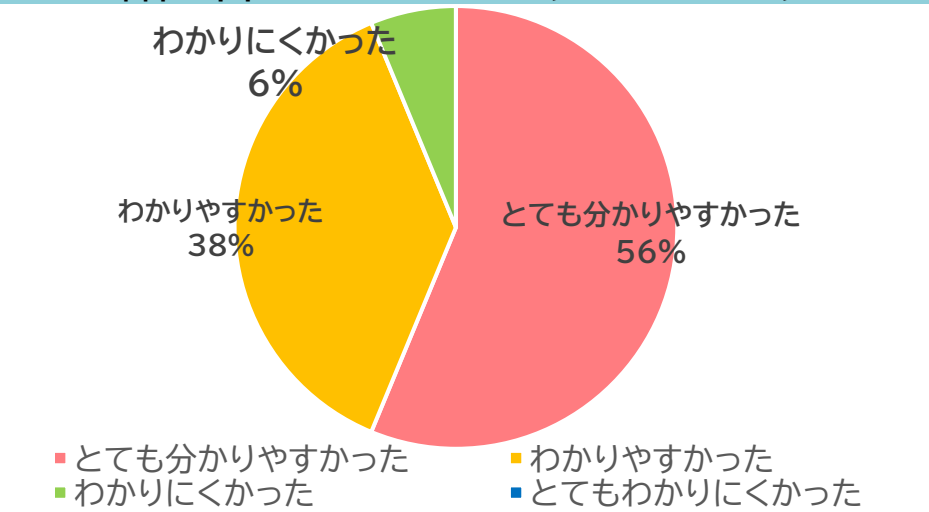
Q3 資料掲載の市の取り組みについて、どの程度知っていましたか



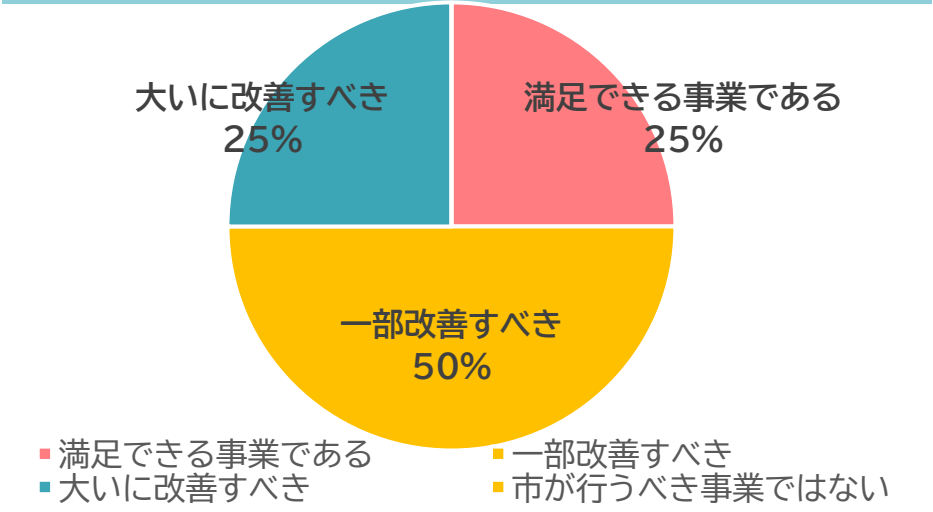
Q4 所管課の職員の説明はわかりやすかったですか



Q5 評価人チームと所管課の職員との話し合いはわかりやすかったですか

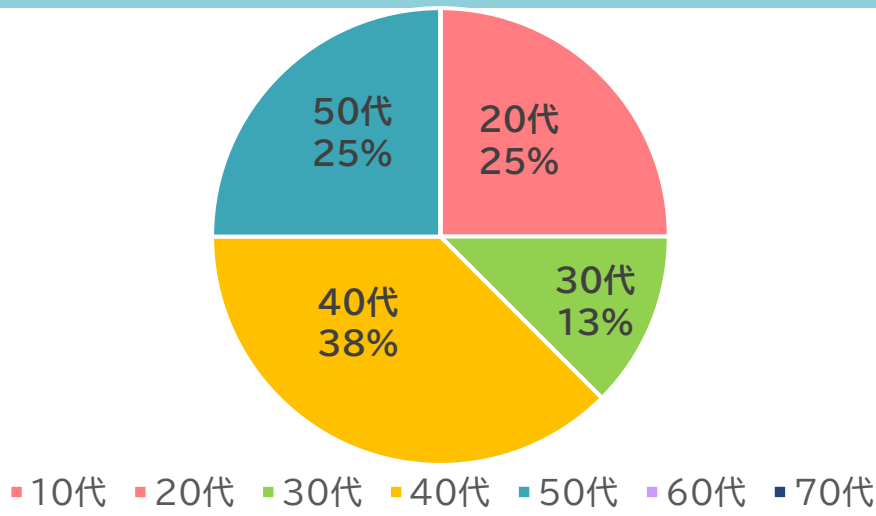


Q6 この事業をどう評価しますか。

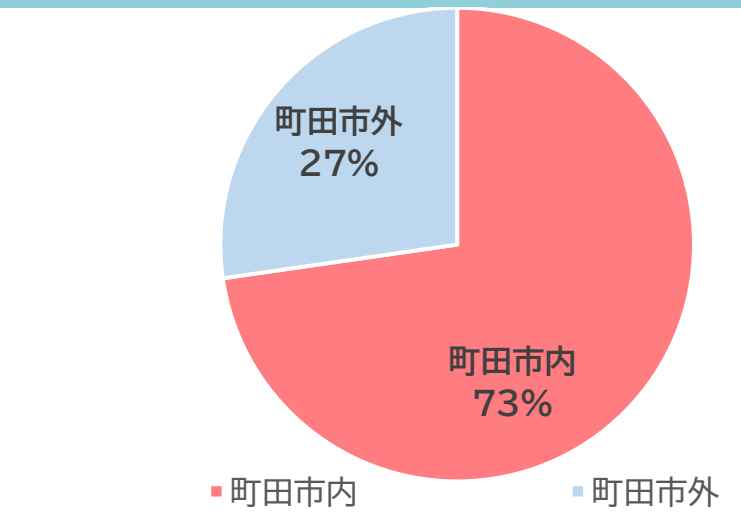


(4)保健予防費

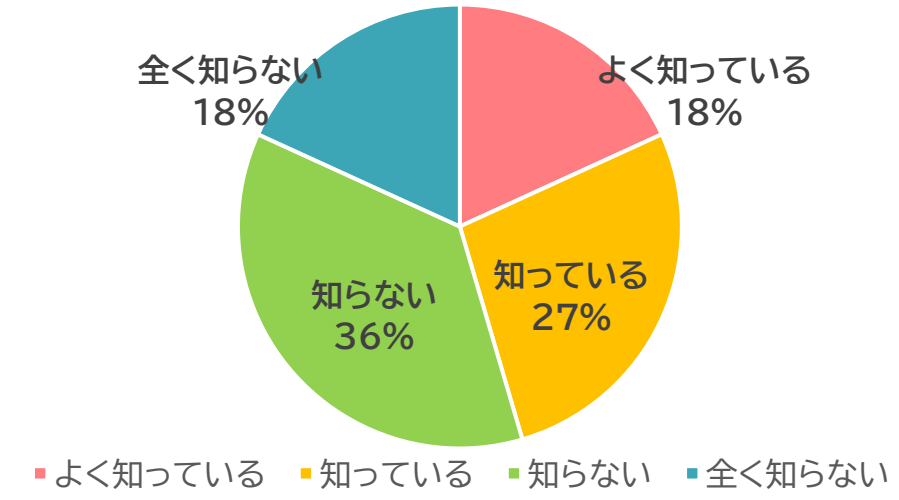
Q1 年齢層を教えてください。



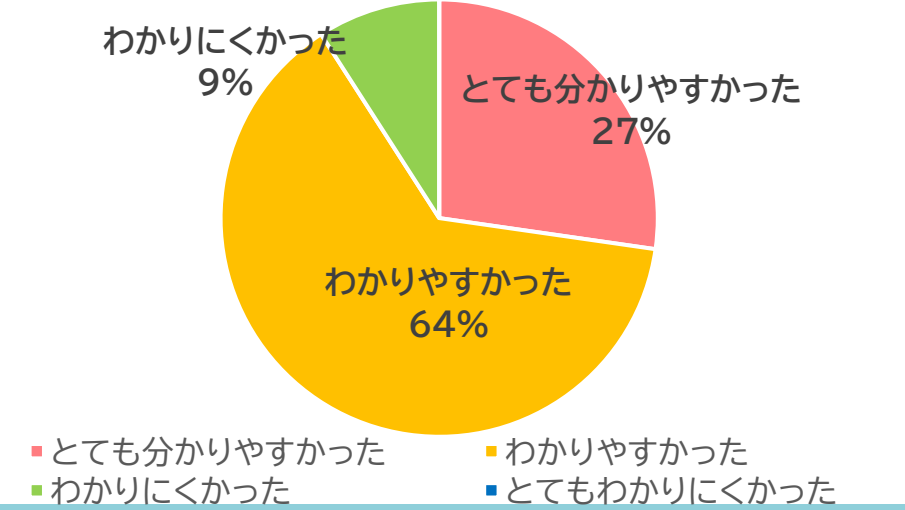
Q2 お住まいはどちらですか。



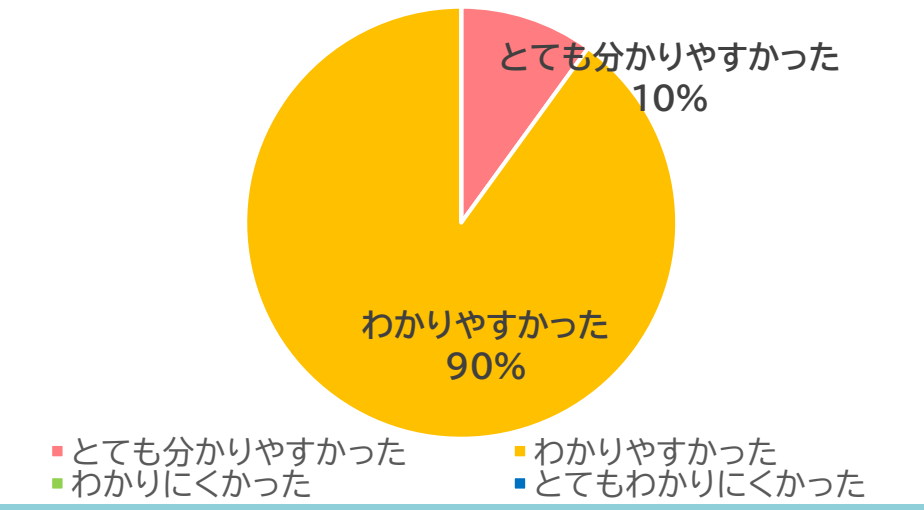
Q3 資料掲載の市の取り組みについて、どの程度知っていましたか



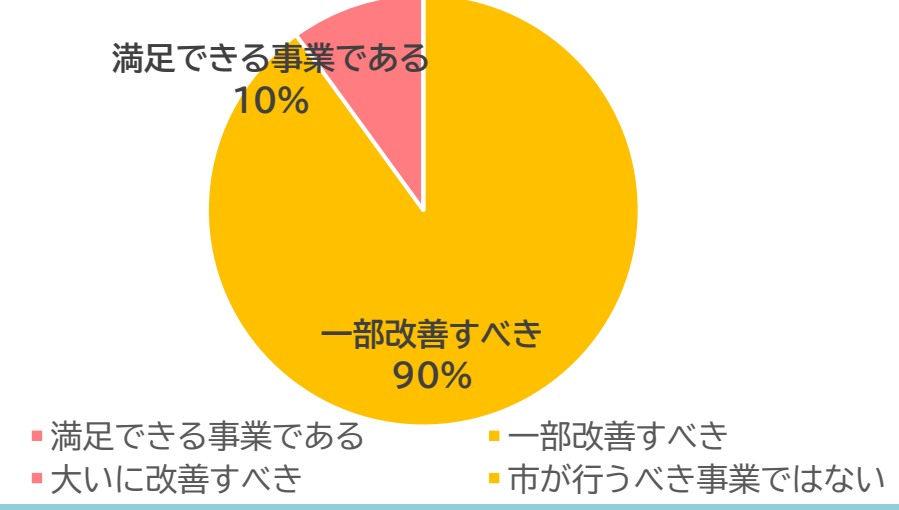
Q4 所管課の職員の説明はわかりやすかったですか



Q5 評価人チームと所管課の職員との話し合いはわかりやすかったですか

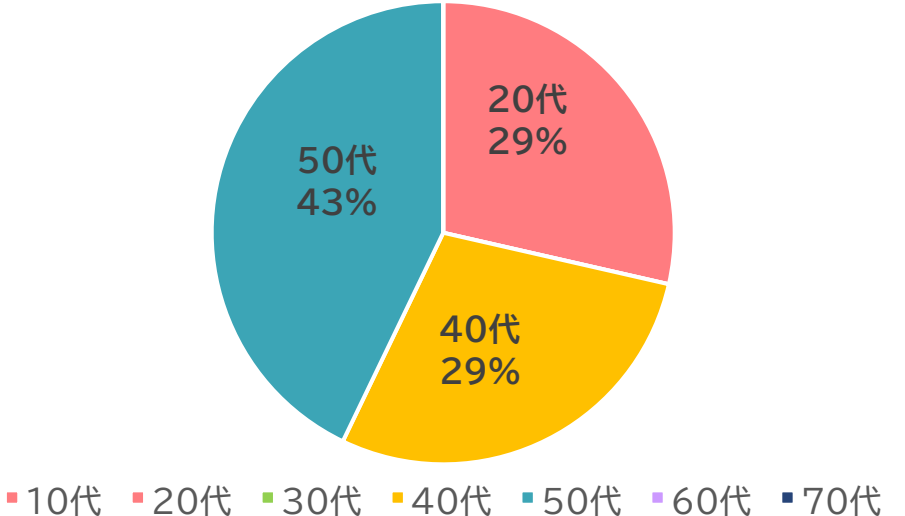


Q6 この事業をどう評価しますか。

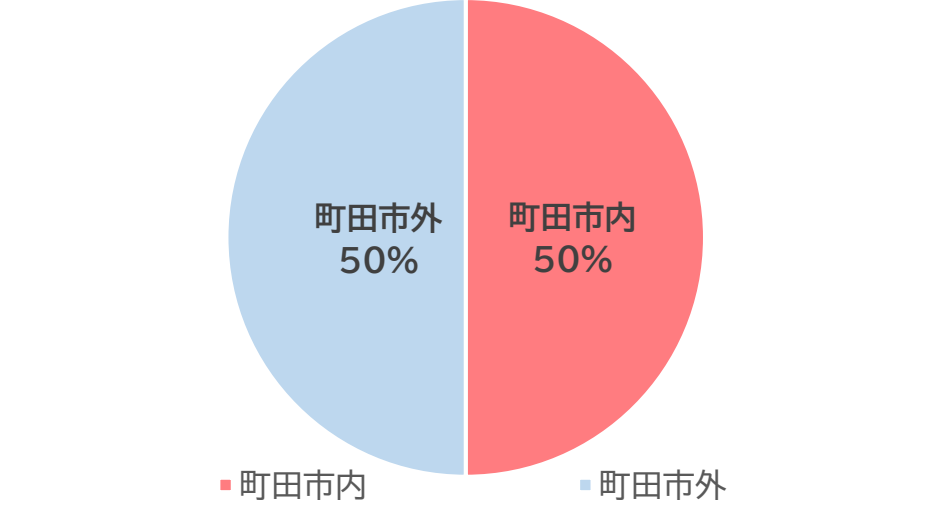


(5)生涯学習センター費・学校施設開放事業

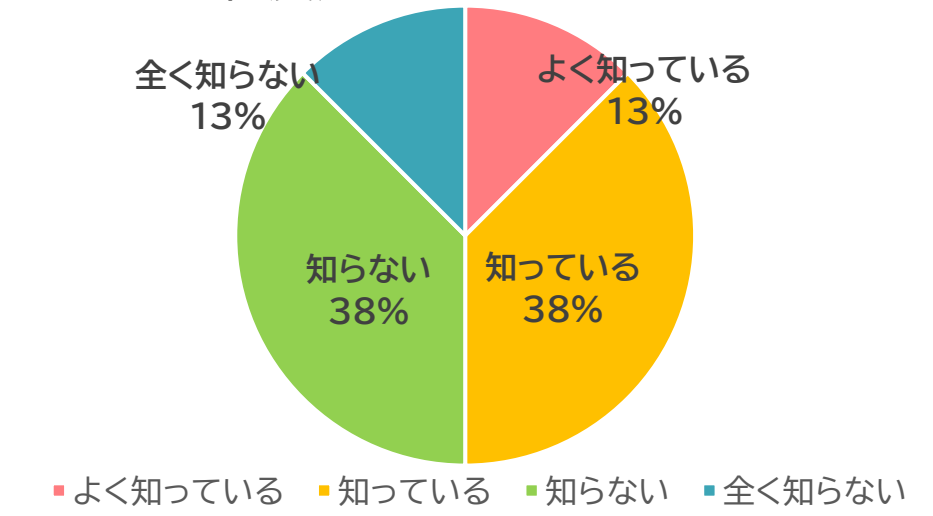
Q1 年齢層を教えてください。



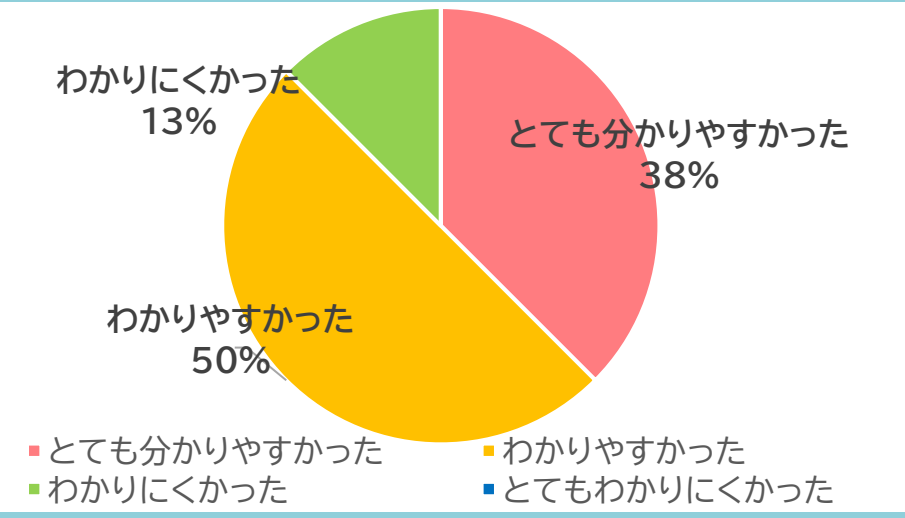
Q2 お住まいはどちらですか。



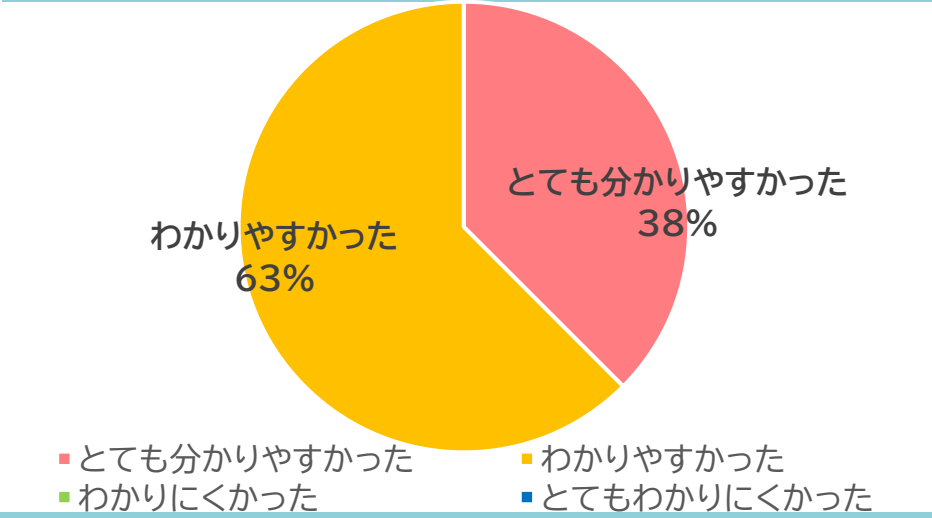
Q3 資料掲載の市の取り組みについて、どの程度知っていましたか



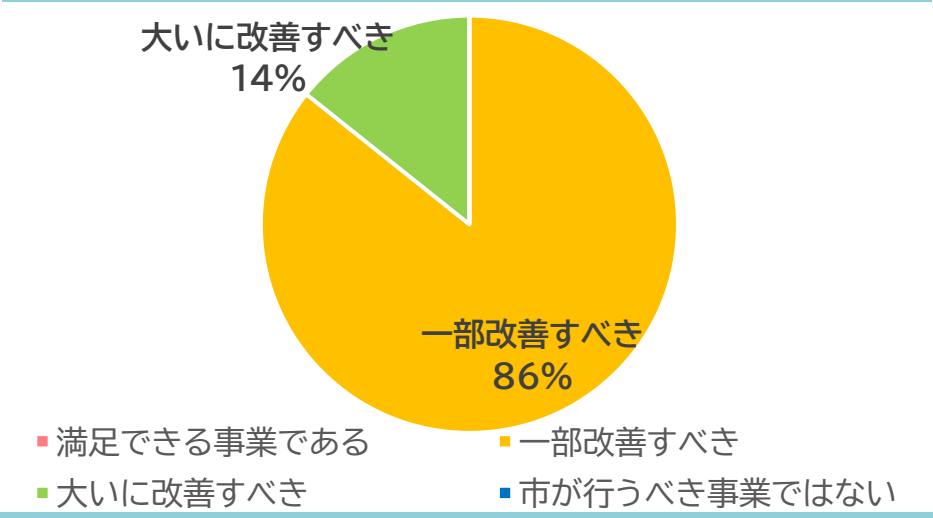
Q4 所管課の職員の説明はわかりやすかったですか



Q5 評価人チームと所管課の職員との話し合いはわかりやすかったですか

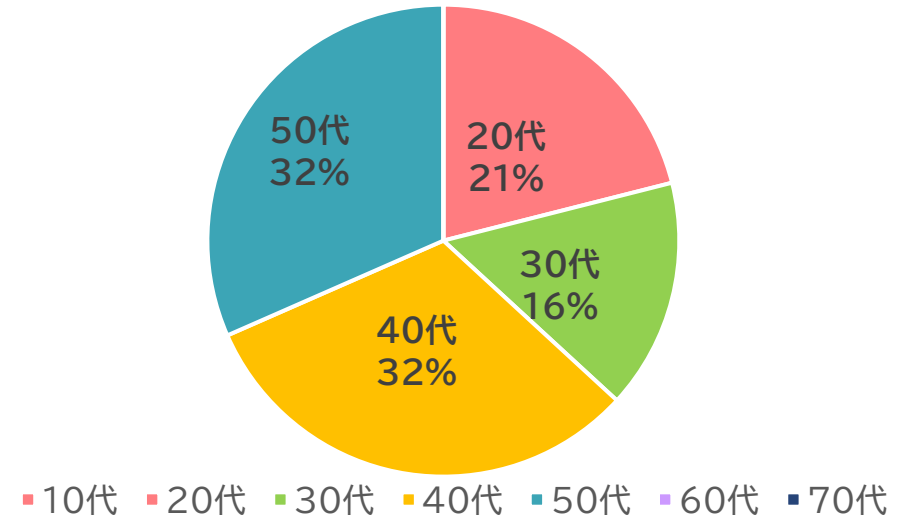


Q6 この事業をどう評価しますか。

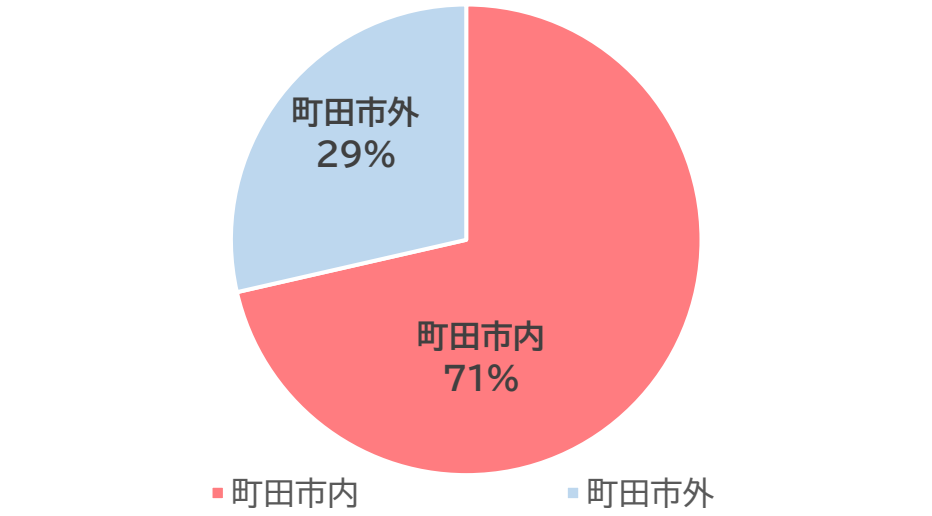


(6) 広報費

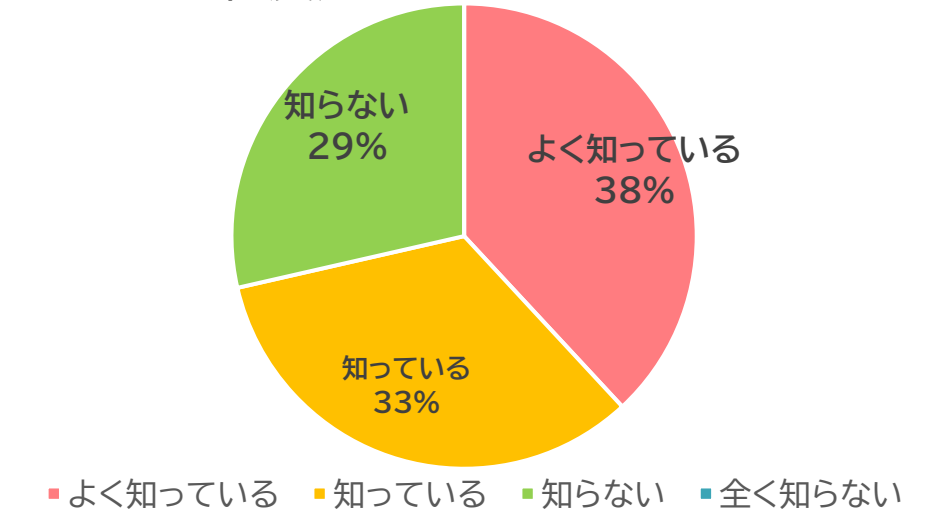
Q1 年齢層を教えてください。



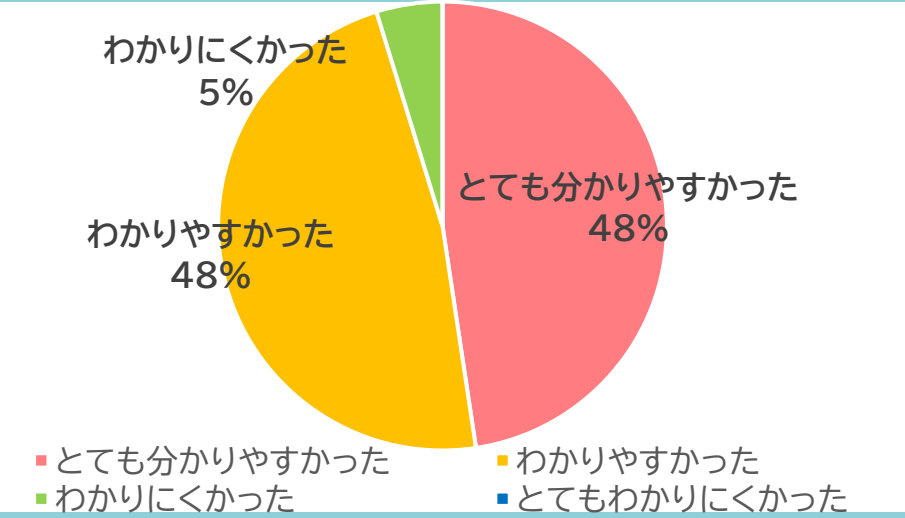
Q2 お住まいはどちらですか。



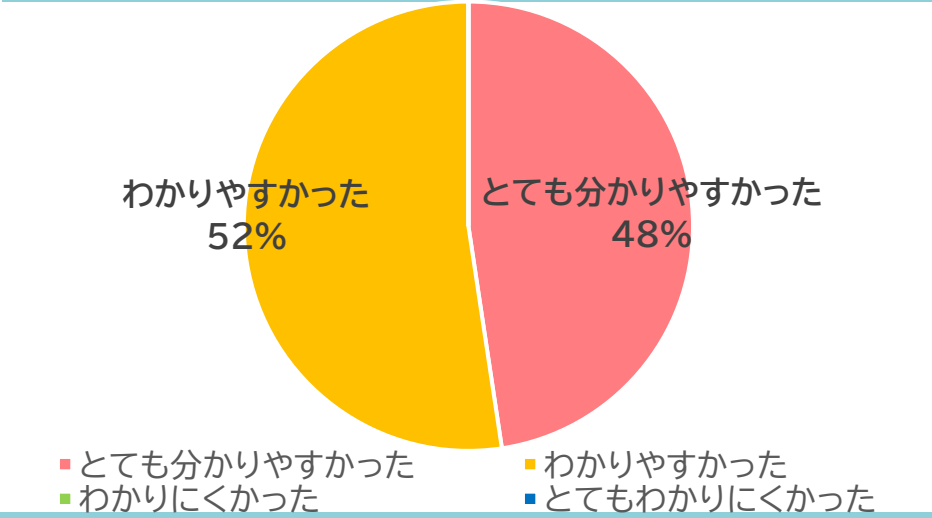
Q3 資料掲載の市の取り組みについて、どの程度知っていましたか



Q4 所管課の職員の説明はわかりやすかったですか



Q5 評価人チームと所管課の職員との話し合いはわかりやすかったですか



Q6 この事業をどう評価しますか。

